

令和 4 年度立川市文化振興推進委員会
重点取組項目テーマ報告書

令和 4 年 1 2 月

目 次

●市民の文化芸術活動支援

- ・立川文化芸術のまちづくり協議会の取組（高木委員）・・・・・・・・・・ 3
- ・市民の文化芸術活動の状況
 コーディネーターの創設について（田ヶ谷委員）・・・・・・・・・・ 5
- ・海外における市民への文化活動支援（堀江委員）・・・・・・・・・・ 17

●学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進

- ・大学における文化芸術活動への参加（瀧川副委員長）・・・・・・・・・・ 19
- ・アール・ブリュットの活動状況（玉川委員）・・・・・・・・・・ 21
- ・学生や子どもなど若者の文化芸術活動への参加（矢内委員）・・・・・・・・ 23

●文化財・伝統文化の継承、市史の編さん

- ・現在の市史編さんの状況（事務局）・・・・・・・・・・ 25
- ・文化財の保存・活用について（宇治委員）・・・・・・・・・・ 26

●多様な主体や他の分野との連携・交流の促進

- ・財団の連携・交流の状況（事務局）・・・・・・・・・・ 30
- ・青年会議所の文化芸術活動との連携・交流（都築委員）・・・・・・・・ 32
- ・立川文化芸術のまちづくり協議会や自身の活動の中での連携や交流
 （成清委員）・・・・・・・・・・ 36

市民の文化芸術活動支援

- ・ 立川文化芸術のまちづくり協議会の取組（高木委員）
- ・ 市民の文化芸術活動の状況（田ヶ谷委員）
- ・ 海外における市民への文化活動支援（堀江委員）

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 立川文化芸術のまちづくり協議会の取組 】	
	氏名【 高木 誠 】
<p>立川文化芸術のまちづくり協議会では現在、下記の事業を進めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化芸術情報の収集と発信 <ul style="list-style-type: none"> → 1 ホームページ、SNS 等による文化芸術情報の広報活動の充実 → 2 市民参加型の情報収集・情報発信力の強化 2. 文化芸術活動を支える人材育成 <ul style="list-style-type: none"> → 1 文化芸術を支えるサポーターの育成・登録・活用 3. 文化団体、大学、企業、地域、行政間の交流及び連携強化 <ul style="list-style-type: none"> → 1 文化団体同士の交流機会の創出等、自主企画事業の開催 → 2 地域の文化芸術の未来を考える勉強会、研究会の実施 4. 文化芸術活動への財政的支援 <ul style="list-style-type: none"> → 1 各種市民団体の文化芸術活動に対する財政的支援 → 2 協議会による財源確保と推進 5. 協議会発足 10 周年記念事業の推進(令和2年度からの継続事業) <p>私が担当する 1. 文化芸術情報の収集と発信については当初、私個人がライターとなって取材し、立川ビルボードというサイトにて記事化してきた。本業の傍ら行っているコンテンツ量では、この先の発展が見えないことから、別事業で行っていたサポーター育成の中で「市民ライター講座」を実施し、その中から希望者を募り、立川ビルボードに寄稿頂く方を増やしていった。</p> <p>その事業を進め始めた2年後でコロナとなり、取材依頼や市民ライターの方との交流の機会も減り一旦、活動も休止に近い状況に。今年度より再開し、交流会を実施、またライングループなども再度運用開始したところ、数名の市民ライターの活発な情報交流により、取材量なども一気に増加してきた。</p> <p>また今年度よりこれまで懸案だったライターとしての名刺の制作、交通費など含む最低限の経費も謝礼としてギフトカードを送る様決めたことから、明らかに参加意欲の高まりを感じるようになった。そうしたサイトの活性化からか、一般での市民ライター参加希望者から問い合わせがあるなど、少しずつではあるが発展の機運を感じるようになっている。</p> <p>【課題】</p> <p>現状では自身が書いた記事がサイトに掲載されることや、取材先から喜んでもらえることをやりがいにしてもらっているが、やはりサイトの情報発信力の向上や、サイトの認知度</p>	

がまだまだ少ないのが現状。この双方が高まることが、市民ライターの継続的なモチベーション維持や、ライターの数、質の発展にもつながると考えており、限られた予算内で行っていくには行政や関係機関との協力、各発行する媒体での掲載、リンクなどが必須と考えている。

2. 文化芸術活動を支える人材育成については今年度より、市民ライター講座は行わず(一般募集のみ受付)、他の分野の文化芸術を支えるサポーターの育成・登録・活用を進めることになった。今年度は「美術館の魅力を発信」「イベントの運営・広報」「アートスポットのガイド」などをテーマにした新たなプログラムの作成を行い、これまでの「アートサポーター養成講座」の参加者が交流する機会を設け、サポーターズ・ネットワークの構築を目指している。

【課題】

プログラム作成については各所との協力関係もできていることから、様々なプログラム、また交流会も発展が予想されるが、やはりここでも募集する際の情報発信力が課題。年代性別問わず、興味関心のある層にその情報をいかに届けるかが要となっている。

3. 文化団体、大学、企業、地域、行政間の交流及び連携強化については今年度から試験的に開始していくもの。文化活動団体を伴走支援できる体制を構築していく試みとなる。現在は会場などに困っている文化団体と企業などをつなげる取り組みを行っている。

【課題】

ここでの課題は実際に伴走支援を行う人間がボランティアでの作業となるため、マンパワー不足が生じる可能性。とはいえ予定される作業量も見えにくいため予算化がしづらいなど課題もある。

4. 文化芸術活動への財政的支援は当協議会の要となる事業。これまでと同様推進していくことが求められるが、上記１～３の事業と連携した伴走支援などが生まれていくことが良いと思う。

5. 協議会発足 10 周年記念事業の推進については現在、協議会で全国の先進的なアーツカウンシルへの取り組みを行っている地域視察などを行っており、立川に同様の組織の必要性の有無も含め協議している。５を単純な周年事業という捉え方ではなく、そうした必要性の有無を、地域の人たちと共に勉強し、協議するシンポジウムができないかを模索している。

令和４年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 市民の文化芸術活動の状況 】

氏名【 田ヶ谷 省三 】

<概要>

1. 市民の文化芸術活動の状況（私の課題）
 - ・はじめに
 - ・ネットで見える市民の文化芸術活動
 - ・報告書づくりで感じた意見・提案など
2. 令和４年度第１回文化振興推進委員会内で提案されたテーマについて
3. 別表 立川市 文化芸術活動のリンク集（2022.09.25）

●「市民の文化芸術活動の状況」 2022. 9. 25

《はじめに》

★流行が続く新型コロナ

- ・新型コロナは私たちの活動をさまざまな形で妨げている。
- ・立川市内をみてもこの7月から感染者数は大きく上昇し、都が発表した9月21日時点での市内感染者数は32,714人にのぼる。市の人口185,533人で割ると、約17パーセント、周囲に5人いれば、ほぼ1人は既感染者ということになる。

都公表 日	新たに発生した 患者数	患者数の累計	退院等者数 の累計	入院・療養中 の患者数
9/21	50	32714	31759	955
9/20	55	32664	31583	1081

(立川市役所公式 HP より抜粋)

- ・成田空港では、460店舗中2割近くの84店舗が撤退、残りの4割も休業中とニュースが伝えた(9/10NHKBs1ch)。
- ・『舞台芸術存亡の危機』と報じた朝日新聞(8/18)
「コロナ第7波で公演中止が急増。陽性になった公演関係者の周囲を検査すると、無症状の人から複数の陽性者が見つかる。結果、舞台を中止せざるを得ない状況で、検査代の負担も大きいし、キャンセル料は補助の対象外とのこと。コロナが収まったとしても人材が戻ってこない…、人材の流出が心配」とあった。

★立川では 慎重に事業・活動企画運営実施…(立川市地域文化振興財団などを中心に)

- ・財団主催事業における感染対策とお客様へのお願い(チラシ)配布
- ・実行委員会形式や協議会主催の事業・個別の事業などが、それぞれのガイドラインに沿った対策を練った上で実施
- ・コロナ禍に負けず、頑張っている頑張らざるを得ないようすが各所で見受けられる。開催上のルールを一部変更し、規模を縮小するなど工夫し、多くの事業・催しや講座が市内各所で行われている。商業・文化施設グリーンスプリングスもコロナ禍のなかオープンした。ここには市内唯一の美術館、たましん美術館がある。

★今回の課題にあたり、ネットで市民の文化芸術活動のようすを調べてみた。参加可能なものはできる限り足を運んだ。その結果を整理しまとめたものが別表(pdf)である。初めに、別表の一覧表から幾つかを《ネットで見る市民の文化芸術活動》と題して採り上げ、次に報告書づくりで感じた意見・提案などをまとめた。

《ネットで見える市民の文化芸術活動》

★Artistic Studio LaLaLa（表1）

このスタジオはモノレール柴崎体育館駅のすぐそばにあり、ベランダからは良く整備された立川公園の緑豊かな展望が開ける。しおみえりこさんは音楽プロデューサーでクラリネットの橋爪恵一さんや赤川政由さんらと協力的な活動を行っている。しおみさんと交友関係にある音楽家などが訪れては小規模なコンサートが開かれている。アールブリュット作家の玉川委員の作品なども展示されている。

★アールブリュット立川 2022（表5）

アールブリュットへの評価は年々高まり、展覧会があると多くの人が集まる。高松学習館では、エレベーターを降りたところから事務所前、廊下のずっと奥まで作品を展示。

★あなたの知らないディープな立川！大衆劇場「立川けやき座」（表6）

都内に3軒しかないという大衆劇場。江戸時代以前にルーツがあるというエンターテインメント。オープン後に交流大学で講座を開くとアイムの教室が満杯に。市内の老人会グループから、近隣の大衆演芸・芝居大好きのお客様が“おひねり”用意でやって来る。

★フレッシュ名曲コンサート（表8）

第18回東京音楽コンクールピアノ部門最高位（2020）がリスルに登場する。その事前キャンペーンで行うプレ・コンサート。多摩地区の新人コンクールの入賞者にも活動の場が必ず提供されている。演奏家としてのキャリアスタートを支える関係者の努力に敬意を表する。若い演奏家たちが育ち、活躍してほしい。

★オニ公園（表12）

オニの由来は、公園の場所が町の鬼門にあたるためらしい。アニメ化ドラマ化されている漫画『聖☆おにいさん』の聖地。世紀末を無事に超えた仏陀とイエスの二人が立川でアパートをシェアし、下界でバカンスを過ごす物語。

※参考；[聖☆おにいさんで舞台の元ネタになったロケ地はどこ？オニ公園や神社など | 進化への道 \(memento79.net\)](#)



富士見町団地公園内にある遊具も独特。近くに新生小や保育園などがあるせいか、形がユニーク。斬新な遊具があちこちにある。団地の子どもたちだけでなく、近隣からも親子連れが遊びに来ているようだ。よく見ればシンプルだが、造形の妙にあふ

れたこのような遊具で遊ぶ子どもたちには、豊かな感性が育まれるに違いない。

※参考；[立川の公園・富士見町団地 ぐるぐる公園 | 多摩てばこネット tamatebakonet.jp](#)

★開館記念展 足跡 1974—2020（表14、※関連 36、38）

グリーンスプリングスにオープンした（令和2年5月）たましん美術館。市内唯一の美術館の記念展。グリーンスプリングスは建物全体のレイアウトが周囲と調和し、バランスが良く美しい。隣接するサンサンロードがより魅力的な散策コースとなった。

※参考；立飛グループ創立100周年記念事業「#たちフェス～音楽を好きになる街へ～」 | GREEN SPRINGS（グリーンスプリングス）

★市内文化財散歩「立川の古道を歩く」（表 27）

文化財にふれる散歩は、歩くことの楽しさと古き良き時代と歴史に想いを馳せる二重の喜びがある。参加者たちの眼差しやくつろいだ笑顔が私たちを想いに誘う。

★市民リーダー講座提案集（表 30）

市内には、技術と指導資格をもった市民リーダーがたくさんいる。分野は多岐にわたり、在籍数は現在 124 名。市民が望む趣味や能力をサポートする体制が整っている。私もその一員で、楽しく学ぶ市民をたくさん見てきた。担当部署はさまざまな PR 努力を重ねている。市民リーダーたちも自分の講座開催、他の講座運営補助、指導法勉強会、作品発表会、ワークショップの企画・運営など研鑽を積んでいる。

★ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエ（表 31）

何度かステージを見ているが、いつもリスル大ホールいっぱいの観客を集める。国際交流をテーマにイギリスのバレエ学校の若手たちとステージを踏んできたが、コロナ禍の今年は日本人のみの公演。海外で活躍する先輩たちとのステージ交流も刺激的。

★国立音楽大学 新作ミュージカル・コンサート「いのちの森」（表 33）

マーシャルの「森は生きている」を元にしたセリフも歌も音楽も全く新しい作品。音大のミュージカルコースの学生中心の修了公演。2 時間弱の作品だが、飽きることなく見られた。近年、ミュージカルは観客を多数動員し、ロングラン公演もあり、オペラを凌ぐ勢い。「刀剣乱舞」や「テニスの王子様」など新しい作品も次々作られている。

石丸寛二・市村正親・井上芳雄、鳳蘭・前田美波里・森公美子・高畑充希などミュージカルスターは TV などのメディアに出演する機会も多く、人気が根付いている。

★第 11 回 TACHIKAWA いったい音楽まつりの動画（表 39）

コロナ禍で中止となっていた音楽まつりが 3 年ぶりに復活。そのようすは会場ごとに撮られた動画で見られる。演奏者たちの熱意、ステージを支えるディレクター・運営委員たちの連携、東京工科大学生の音響サポート、ボランティアの輪、活動に協力する企業、財団スタッフの支え、多くの力が結集された。街なかの音楽パフォーマンスを楽しむ市民の笑顔が印象的。

★シルバー大学の各種講座（表 42）

シルバー大学はスポーツ系と文化系に分かれ、60 歳以上が参加する講座。最近はパソコン・スマホなどの理系講座も増えている。「令和 3 年度、シルバー大学全体では 28 講座、425 人の受講生が決定し、男性は 103 人、女性は 322 人。平均年齢は 72.4 歳。年間出席率は 88%。受講生本人の病気、家族の介護、コロナへの不安等から途中で退会するものが 1 割ほどいる」（事務局長）とのこと。私が関わっている講座は「ボイストレーニング＋昭和歌謡・愛唱歌」、2 つの会場で計 40 数名が元気に学んでいる。

★市民オペラ（表 45）

来年3月の市民オペラのオーディションが6月の終わりにあった。50人に上る応募者が8つのイスを目指してノドを競い合う。どれほど練習を重ねてきたのだろうか。皆すばらしい歌を披露した。同じアリアを何度も聴く。しかし、声も容姿も舞台上の動きもみな違う。だから面白いが審査員は大変だ。無料公開なのに観客が少なくて残念。例年、本公演の1～2カ月ほど前にプレ・コンサートがある。演出家の直井先生が解説、本番で歌う歌手たちが数名出て、ハイライト場面をソロやデュエットで演ずる。これも無料、いつも満席。オペラをプロデュースする財団や市民オペラの会、出演者や、直井先生のオペラ愛がよく伝わってくる。応援する市内企業団体も多い。ちなみに私は助演（歌なし、演技だけ）を2回経験（『トゥーランドット』『こうもり』）している。助演はほぼ毎回公募があり、オペラ歌手や合唱団の人々に混じり、貴重なステージが体験できる。

★田中優子さんの講演会（表 47）

第14回たちかわ男女平等フォーラム基調講演、申し込み初日で90の座席が満席。キャンセル待ちが30との話。残念ながら私は聞くことが出来ず。この日のテーマは「女性にとっての自立と自由」。基調講演を聞いた二人の友人の感想は「すごく良かった！」。

※参考；MS Wendy が法政大学で田中優子さんに取材した記事

[江戸の想像力と柔軟性を生かして しなやかに生きる::Back Number::Ms Wendy::分譲マンションと生活に関する情報 Wendy-Net](#)

★第8回 立川名画座通り映画祭（表 52）

映画は面白い！“10分以内”の枠の中で、制作者たちの個性が躍動する。一般・立川市・スマホの3部門、ジャンルは自由。応募総数は過去最高の136本。上映ごとに拍手～部門別に表彰があり、温かい拍手が続いた。グランプリ；[23006 マンガガールズ（TVF2023 応募作品） - YouTube](#) 立川市長賞；[第8回立川名画座通り映画祭 立川市長賞 受賞作品『立川君から聞いたのだけど』 - Bing video](#)

★チャボヒバホール（表 59）

シンプルで飾らず無駄のない美しい佇まいのホール。音響が良く、ピアノ通が好むベーゼンドルファーのグランドピアノを備えている。座席は100名ほどの小ぶりのホール、私に関わるシニア混声合唱団の第1回定期演奏会、ここでいきなり満席となった。

★中高生と創るシェイクスピア劇（表 60）

中高生がプロの指導を受けて、劇のイロハを教わり、表現力や想像力を培っていく貴重な体験。演劇はさまざまな能力を育む。実際に演じることによってこれを獲得していく過程は自己変革。参加者や観劇者が多く集まったという。末永いシリーズ化を望む。

★ホタル祭り 新生小学校（表 61）

6年生の立川市民科授業で取り組むプロジェクト。玉川上水の保全運動に関わる萩本悦久さんからホタルの一生や特徴について学び、担当教諭の指導でゲンジボタルの卵孵

化、幼虫の飼育、放流、餌撒き、用水の清掃などの活動を行っている。

市では、市民科という独自のカリキュラムに平成 27 年度から取り組み、今年度から全小中校が教育課程特別校に指定されたことで、「立川市民科」が教科となった。学習内容は、中学校区ごとに、各地域特性を生かし、小中連携で主体的に地域と関わり、探究的な学習を深める。成績は文章で記載。

各校区のカリキュラムに、文化・芸術に関わる体験的な内容を多く盛り込んで欲しい。

※参考；立川市民科リーフレット [040401tachikawashiminka.pdf](#)

先輩から引き継いでホタル育てたよ 立川六小 全クラスで観察：東京新聞 TOKYO Web ([tokyo-np.co.jp](#))

★南極観測（表 62）

極地研は市と提携し、市民交流大学の講座で最新の研究成果を毎回伝えてくれる。平成 31 年度の 3 回目に第 58 次越冬隊長の講演があった。朗読サークル「こえ」の活動・施設見学で極地研を見学したことがある。観測隊経験者の先生が丁寧に分かりやすく教えてくれる。昭和基地の施設のように、寒さが体験できる施設などがあって興味深い。

★地域学習館の取り組み（表 63）

西砂学習館の運営協議会の会議録。地域コーディネーターを巻き込み、ベストな企画・運営めざして自由闊達に協議するようすが分かる。こうした人たちに支えられて文化芸術に触れ合う時間が各地域に生まれる。他の学習館のようすも検索可。

★ファーレ立川アート・ナイトツアー（表 65）

夜のファーレ立川アートは面白い視点。昼間は小学生が係の説明を受けていたり、サラリーマン風の旅人が写真を撮ったりなどして、街区には独特の空気が流れている。

★立川ユネスコ協会の活動（表 67）

「平和の心コンサート」の主催、国音との連携、作品朗読会（ユネスコカフェ）、ガニガラ田んぼの保存活動協力、玉川上水保存活動との連携、ネパールの小学校との通信対談、ユネスコ史跡保存の勉強会。ここ 2 年はコロナ禍で活動休止、今夏から再開。第二回平和の心コンサートでは玉川委員と連携し作品を展示した。来春に第三回を予定。

★BONZE WORKS（表 68）

市内各所に赤川政由さんの作品がある。銅板の風合いを生かした魅力的な作風は暖かく、評価は高い。日本全国に 400 近い作品が設置されているという。立川市 50 周年を記念するモニュメント「大きな樺とカワセミとセロ弾き（セロ弾きのゴーシュ）」が幸学習館前に設置されており、学習館を訪れる人たちを出迎える。

★ロバハウス（表 70）

玉川上水遊歩道そばにロバハウスがある。カテリーナ古楽合奏団の本拠地でユニークなコンサートが行われている。ゲストに詩人の谷川俊太郎さんを迎えた回のビデオもあり、興味深い。※参考；[ロバハウスを訪ねて 案内人：松本雅隆さん 2015 年 6 月 18 日](#)
[えくてびあん 多摩てばこネット - YouTube](#)

《報告書づくりで感じた意見・提案など》

■各種コーディネーター（専門職）の人材育成と活用

- ・期は熟し、ふさわしい人材は少なからずいる。体制を整え、育成と活用に本気で取り組む姿勢を望む。近い将来、立川育ちのコーディネーターが各地で活躍する夢を見たい。

■地域学習館・福祉会館の課題

- ・施設が古くなったこともあるが、舞台の使いにくさ（照明、ステージ裏の狭さ、音響器具の古さ、控室の不備）、ピアノ調律が自前の不便さ、会場確保の大変さなどがある。
- ・舞台に反響板が設置されておらず、客席に音が届かない。演奏の質に影響する。

■文化振興推進委員会の開催回数改善

- ・コロナ禍とはいえ年2回では、活発で有効な話し合いはできないと考える。話し合いを多くすればすべてうまくいくわけではないと思うが、ある程度の回数は必要。工夫を。

■市史編纂室の研究成果や資料の効果的活用

- ・今井委員長の『ワークショップのはなしをしようー芸術文化がつくる地域社会』（武蔵野美術大学出版局・刊）の4章に、「ワークショップから絵本づくりへ～松川村の文化と食を伝える」という優れた実践報告がある。これを参考に、活動に関心を寄せ、成果が地域と共有でき、新たな活動が生まれ拓がるような楽しい仕掛けが欲しい。

■その他、市の文化芸術活動に長年関わる友人たちの声

- ・市全体の文化をプロデュースし、質の向上を目指し、行政部門を拡充する。各部でのイベントを一層充実させる。（例）子育て関連のイベント、高齢福祉関係の文化イベントなどを専門部門で企画する。
- ・文化関連予算を市民とともに分析し、常に予算全体とのバランスを考慮する。
- ・音楽文化は国立音大との連携を更に深め、事業拡大を検討する。大学にとっても大きなプラスとなると思う。（例）小・中校—国音のホールで生の演奏会を1年に1回は聴く。

各校の音楽会に国音を招待する、など。

- ・立川市民交流大学では、12年にわたりクラシック音楽入門講座（5～6回シリーズ）を続けている。音大生やOB、更には講師の生演奏もあり、人気が高く固定ファンも多い。
- ・立川市交響楽団、立川市吹奏楽団、市民オペラへの支援を一層拡げる。
- ・たましん美術館と連携し、効果的な活用を図る。
- ・立川いったい音楽まつり、立川フラメンコフェスティバルなどの一層の支援を望む。フラメンコフェスは、交流大学の講座で2年10回ほど行っている。毎回20人からの参加があり、人気が高い。
- ・市内に映画館が増え、施設や内容が充実している。
- ・財政的に豊かな立川市に「文化がない」と言われるのは残念。今後のまちの発展は、文化にかかっていると思う。
- ・市議会議員の選挙公報、“生涯学習”に触れた候補者が一人もいないのは大変残念！

《令和４年度第１回文化振興推進委員会内で提案されたテーマ》

■コーディネーターの創設について

市民と行政が協働して文化芸術を振興推進するために、立川市文化芸術コーディネーターの創設を検討いただきたい。

私が調べたところ、市には現在６種のコーディネーターが存在する。

- ① 地域福祉コーディネーター…各地区２名配置、計１６名
- ② 生活支援コーディネーター…①②ともに地域包括支援センターに所在地あり
※①②は今年度から、対象によって名称が異なるだけで、担当者は兼務。
６５歳以上の方が仕事の対象になった場合、生活支援コーディネーターと呼ぶ。
どちらも社会福祉協議会の職員として採用され、本人と相談し、コーディネーター担当が生まれる。公募。
- ③ 地域学校コーディネーター（旧学校支援コーディネーター）…１,４８０円（時給制）
任期３年、再任可、１本部に複数のコーディネーターの配置可、学校長の推薦で市が認める。学校と地域のつなぎ役。
- ④ 特別支援教育コーディネーター…全小中校に複数配置、校長が教員を指名する。
- ⑤ 認知症支援コーディネーター（会計年度任用職員）…２６７,３００円（月額）、公募
※担当部署→高齢福祉課介護予防係
- ⑥ 市民活動コーディネーター…こども未来センター協働事務室に勤務する職員（市指定管理者；合人社計画研究所グループの株式会社 studio-L の職員）

以上の現状をみると、市と市民との協働の狭間で、抱えている課題に対し、より広く柔軟で緻密な対応を図る必要があり、まさにつなぎ役として設置されたと考えられる。コーディネーターは、マッチングを主な任務とし、確かな知識や経験、豊富な情報をもとに、出会い、結び合う機会や場を演出・設定する仕事である。市民と行政が協働し連携を高め、双方共通の目的・願いを達成するために必要な人材と考える。

では、文化芸術関連はどうか。

立川市文化芸術のまちづくり条例の定めるところでは、「地域文化振興財団に文化芸術の振興の中心的役割を求める」（第８条２）とある。財団はさまざまな事業・活動を展開しているが、現在、コーディネーターはいない。財団の職員が実質コーディネーター的な仕事をしている場合も多々あると思う。しかし、さまざまな対応の中で限度や限界などが自ずと生じ得る。コーディネーターはそこを補填し、解決役となる。更にサポートだけでなく、現場の最前線でつなぎ役を重ねていく中で、課題発見や新たな事業へのアドバイスなど大いに期待できる面がある。文化芸術活動の一層の推進を考えれば、今が導入の時期と考える。人材は在野にいる。発掘し、採用し、育成し、市が掲げる「文化とやさしさのあるまちづくりの推進」を一層徹底すべきかと思う。

立川市 文化・芸術活動のリンク集 (田ヶ谷) 2022.09.25

№	タイトル (事業名・講座名等)	分野	主催団体名・事業者名・講師名等 (敬称略)	事業目的・内容	HPアドレス
1	Artitic Studio Lalala	美術・音楽	しおみえりこ	楽器支援から始まった東北とのつながり 被災した着物を通して 震災の記憶と着物のすばらしさを 伝え続ける	https://smtrc.jp/otonamirai/vol16.html
2	ART in FARM	美術	一般社団法人アートインファーム	井上農園の葡萄畑にて行われるアートイベント 作品の展示の他に飲食ブースの出店やコンサートを実施	https://www.facebook.com/artinfarm8
3	第28回アートギャラリー展入賞作品	美術	(公財) 立川地域文化振興財団	たちかわアートギャラリー展は「市民のための絵画展」 「描く喜び、観る楽しみ」をテーマとし、出品規定に合った応募作品は全て展 示、作品の大きさは「はがき」サイズから	(報告)第28回たちかわアートギャラリー展入賞者・入賞作品のご紹介 公益財団法人立川市地域文化振興財団 (tachikawa-chiikibunka.or.jp)
4	アートサポーター養成講座	アートサポート	立川文化芸術のまちづくり協議会	アーティストとまちをつなげ、アートをまちに広げる アートサポーターを養成する。今回はレセプションの育成	「アートサポーター養成講座」参加者受付開始 立川ビルボード (tachikawa-billboard.com)
5	アール・ブリュット立川2022	美術	アール・ブリュット立川実行委員会	多摩地域で活動する障がいのある才能豊かな作家のアート展	https://tachikawa.keizai.biz/headline/3705/
6	あなたの知らないディープな立川！ 大衆劇場「立川けやき座」を120%楽しんじやおう！	演劇・芸能	立川けやき座	けやき座のHP 上演内容の紹介	http://t-keyakiza.com/
7	歌う会コンサート	音楽	NPO法人脳響トーンシステム (府中市)	歌うことをツールに脳の活性化を促進している 「歌う会」の会員と指導者が、さまざまなジャンルの歌を披露し 一般の方にもコンサートとして楽しんでもいただく	https://www.nohkvo-tone-system.org
8	大崎由貴 ピアノ プレ・コンサート	音楽	(公財) 立川地域文化振興財団	フレッシュ名曲コンサート事前キャンペーン 第18回東京音楽コンクール (2020) ピアノ部門第2位 (最高位) 大崎由貴 によるプレコンサート	公益財団法人立川市地域文化振興財団さんはTwitterを使っています:「明日開催の『フレッシュ名曲コンサート事前キャンペーン大崎由貴 ピアノ プレ・コンサート』は、お陰様で受付終了しております。華麗なショパン作品からベートーヴェンの傑作まで、ピアノ独奏による名曲たちをお楽しみください㊦ 大崎さんのインタビューも掲載中！！詳細→ https://t.co/0EsgAsDUlnz https://t.co/cBiptkCW3J / Twitter
9	おとなと子どもの絵本読書会「百万回生きたねこ」	文芸	たちかわ市民交流大学市民推進委員会	この絵本の猫は立川市図書館の利用カードの絵にもなっている 誰にも親しまれている恵の長い絵本。講師のお話を聞き 読みながらこれからの生き方を考え交流する	西砂川ニュース:学習館・おとなと子どもの絵本読書会「100万回生きたねこ」 みんなの西砂川 (nishisuna.org)
10	大人のための伝統文化・芸能体験事業	音楽・芸能	東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京&芸団協	伝統文化・芸能についての講演、箏曲と生け花の鑑賞と体験 三味線の体験が一つになったプログラム	2022年10月2日開催 立川市女性総合センター (アイム) イベント情報 アーツカウンシル東京 (artscouncil-tokyo.jp)
11	大人のための バレエ・ワークショップ・オン・ステージ	舞踊	(公財) 立川地域文化振興財団	11月の立川市民フェスティバル 大ホールでの公演出演をめざしてバレエを学ぶ	http://tachikawa_chiikibunka.or.jp/tachikawa_music
12	オニ公園	景観	立川を楽しもう 「多摩てばこネット」	立川の公園シリーズオニ公園といえば あああそこわかるほど立川でその認知度はずば抜けている 「錦第二公園」	立川の公園・錦第二公園 (通称:オニ公園) 多摩てばこネット (tamatebakonet.jp)
13	「おやこ・de・アート展2019」in 立川	美術	Nomad ART ノマドアート	多摩地域を拠点にアートプロジェクトやワークショップを 企画実施する団体。子ども未来センター2階協働事務室	https://www.nomadart.jp/
14	開館記念展 足跡 1974-2020	美術・音楽・建築	(公財) たましん地域文化財団	開館記念展 たまびらき、東洋古陶磁展、足跡1974-2020	https://www.tamashinmuseum.org
15	学校と地域をつなぐコーディネーター「活動ノウハウ集」	文化サポート	NPO法人 スクール・アドバイス・ネットワーク	学校と地域をつなぐ軸として期待されるコーディネーター その「ノウハウ集」(冊子)	【冊子ダウンロード】コーディネーター活動ノウハウー 特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク (sanet.jp)
16	感性とふれあう芸術基地・立川	アート全般	立川市総合政策部広報課	「TACHIKAWA市勢要覧」(市政施行80周年記念) ART×DAILYLIFE地域力と想像力が奏でるアートのハーモニー頁から	01-24立川市勢要覧.indd (tachikawa.lg.jp)

17	KITORIがひらくちいさなお祭り「百の灯りとおしゃべりと夢	アート全般	建築デザイナー・家具職人 山上一郎	2019.10.26～27 オープンアトリエWOKkitoriのビルボード・レポート	KITORIがひらく、ちいさなお祭り「百の灯りとおしゃべりと夢」 立川ビルボード (tachikawa-billboard.com)
18	キッズ伝統芸能体験	伝統芸能	東京都 東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 日本芸能実演家団体協議会（芸団協）	能楽、長唄、三曲、日本舞踊の4つのジャンルの演奏家が生徒たちに直接指導。数カ月わたる稽古の成果を国立能楽堂 国立劇場といった本格的な舞台上で発表する	キッズ伝統芸能体験・動画 Facebook
19	キッズワークショップ vol.72	音楽	（公財）立川地域文化振興財団、東京文化会館	ジャンルを超えた音楽の楽しさを体験しながら 協調性や創造性を育む参加型の教育プログラム	(募集)キッズワークショップvol.72 Workshop Workshop! 国際連携企画 東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 立川 2023 公益財団法人立川地域文化振興財団 (tachikawa-chiikibunka.or.jp)
20	くるりんカラーマンホール鉄蓋	デザイン	立川市環境下水道部	カラーマンホールの鉄蓋のデザインに立川市キャラクター 「くるりん」が使われている。カードも発行され、市内3箇所で 配布中 散歩途中でこれを見つけると嬉し楽し気分になる	https://www.city.tachikawa.lg.jp/gesuidokanri/documents/card2.html
21	こどもとおとなのなしい in 市議会議場	教育文化	夢育で・たちかわ子ども21プラン推進会議 9/4	市内の小学4年生～18歳の子どもが大人との対話形式で 提案・発表する。発表後は提案の実現に向けて 「ウドラ夢たち基金」を使い、子どもたち自身が活動する	https://www.city.tachikawa.lg.jp/koho/newsreleas/pressreleas/r4/documents/20220826_press2.pdf
22	子どもも大人も大歓迎！夏！体験ボランティア2022	教育文化	たちかわまちネットWeb	ボランティア、NPO、市民活動に関するさまざまな情報案内	https://www.machinet-tachikawa.org/web
23	さくらの保全活動	環境保全	NPO法人 集住グリーンネットワーク	立川公園根川緑道の桜の保全として簡単な土壌改良を行った その様子を紹介	https://www.facebook.com/negawasakura
24	第46回三多摩美術家展	美術	三多摩美術家連盟	多摩地区を中心に創作活動を続ける100人超の作家たちが参加する 公募団体展	http://sanbiren.com/exhibition/
25	市史編纂広報誌 「たちかわ物語」	学術	産業文化スポーツ部地域文化課市史編纂担当	Vol.13 Mar.2022 部会特集（古代・中世部会）立川文書一修復と調査	shishidayori_13.pdf (tachikawa.lg.jp)
26	知っていますか？認知症のこと（中央図書館テーマ展示）	文芸	立川市図書館	中央図書館のテーマ展示一覧と 各コーナーの写真と解説同じ構成で各館も検索できる	中央図書館のテーマ展示 - 立川市図書館 (library.tachikawa.tokyo.jp)
27	市内文化財散歩「立川の古道を歩く」	学術	立川市動画チャンネル	令和元年10月に実施された立川市民科講座『古道を歩く』 第一回立川郷周辺を尋ねて；谷保の城山から「みのわ城」へ	https://www.youtube.com/watch?v=acKLpHb0fwk
28	市民企画講座「クラシック音楽入門講座」第13回	音楽	市民交流大学	各作曲家の音楽などをわかりやすく学ぶ 今年のテーマはガーシュウィン、各回ごとの参加が可能 講師は国立音楽大学音楽大学教授の安崎求先生ほか	http://www.city.tachikawa.lg.jp
29	市民交流大学の講座情報誌「きらり・たちかわ」	全分野	たちかわ市民交流大学市民推進委員会情報広報部	「生涯学習から始まるまちづくり」をめざし、市民と行政が協力して生涯学習 を進めるための情報誌。市の公式HPから検索	講座情報誌「きらり・たちかわ」 立川市教育委員会 (tachikawa.lg.jp)
30	市民リーダー講座提案集『たとえば、こんな講座できます』	全分野	生涯学習市民リーダーの会	さまざまな分野の講師たちが提供する講座例の一部を紹介	https://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/simin-leader/tatobakonnakouza.html
31	第10回記念ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエ 国際交流公演	舞踊	ジャパン・インターナショナル・ユース・バレエ	未来を担う青少年のために良いダンス、バレエ教育を施し 芸術活動の場を通して健全かつ豊かな心身の育成を支援し 海外のバレエ学校の生徒たちとの交流公演を開催する	https://jiyb.web.fc2.com
32	根川緑道の桜の保全活動	緑地・樹木林等保全	NPO法人 集住グリーンネットワーク	立川公園根川緑道の桜の保全として、簡単な土壌改良を行った その様子を紹介	https://www.facebook.com/negawasakura
33	新作ミュージカル・コンサート『いのちの森』	音楽・演劇	国立音楽大学	国音 新作オリジナルミュージカル『いのちの森』	【国立音楽大学】ミュージカル・コンサート『いのちの森』 - Bing video
34	【新編立川市史編纂関連講演】立川飛行場と立川町制施行	学術	立川動画チャンネル	市史編纂に限らず、「私たちの街 立川市」「立川市商店街振興組合連合会プロモーションビデオ」「おうちで水曜コンサート」「市役所ロビーコンサート」「令和3年度立川市議会報告会（建設経済委員会）」など多数あり	https://www.bing.com/videos/search?q=%e7%ab%8b%e5%b7%9d%e5%b8%82%e5%9c%b0%e5%9f%9f%e6%8c%af%e8%88%88%e8%b2%a1%e5%9b%a3%e3%81%ae%e5%8b%95%e7%94%bb&qvrt=%e7%ab%8b%e5%b7%9d%e5%b8%82%e5%9c%b0%e5%9f%9f%e6%8c%af%e8%88%88%e8%b2%a1%e5%9b%a3%e3%81%ae%e5%8b%95%e7%94%bb&view=detail&mid=9F6C2095D1719C632D329F6C2095D1719C632D32&&FORM=VRDGAR&ru=

35	第973回例会杉村太蔵が語るSDGs！	学術	立川青年会議所	元衆院議員でタレントの杉村太蔵さんの 持続可能な開発目標SDGsとまちづくりについて講演会	http://tachikawajc.or.jp/2019/?p=3578
36	ストリートピアノ期間限定設置のお知らせ	音楽・美術・建築	空と大地と人がつながる "ウェルビーイングタウン"GREEN SPRINGS"	7月に続きヤマハのグランドピアノが1回10分自由に弾ける artをクリックすると施設内の作品が解説される	https://greensprings.jp
37	0歳からの親子コンサート ～子供たちは泣いても・歩き回っても大丈夫～	音楽	至誠学園立川児童事業本部	至誠学園HPのお知らせから 2020.2.760組以上の親子の申し込みがあり、当日は131名の参加	0歳からの親子コンサートを実施しました！ 至誠学園 (shiseigakuen.org)
38	空と大地と人がつながる"ウェルビーイングタウン"	アート・建築・音楽	グリーンスプリングス	立川駅より徒歩8分、立川ステージガーデンやソラノホテル 商業施設、オフィス等で構成された複合施設	https://greensprings.jp
39	第11回TACHIKAWAいったい音楽まつりの動画	音楽	立川いったい音楽まつり実行委員会	各ステージの様子	第11回たちかわ音楽いったいまつり - Bing video
40	立川活性化プロジェクト2022企画発表会	学術・教育	明星大学	「企画表現5」学生による企画プレゼンテーション	http://kenkyu.hino.meisei-u.ac.jp/k5-2022/
41	立川シアタープロジェクト	演劇	立川シアタープロジェクト実行委員会	演劇で立川の文化芸術を活性化する	https://ja-jp.facebook.com/people/%E7%AB%8B%E5%B7%9D%E3%82%B7%E3%82%A2%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88%2F100057036596558/
42	令和3年度 立川市シルバー大学の活動内容	全分野	福祉保健部・福祉総務課・シルバー大学	令和3年度の活動内容 (開講期間：令和3年9月～令和4年7月)	katudouhoukoku.pdf (tachikawa.lg.jp)
43	立川市吹奏楽団第50回定期演奏会	音楽	立川市吹奏楽団	立川市を中心に活動しているアマチュア市民吹奏楽団 昭和46年に立川一中、三中の卒業生を中心に設立 「音楽の喜びをあなたに」がモットー	https://www.facebook.com/events/3154025068152869
44	立川市のお宝「玉川上水・分水網関連遺構」	学術	玉川上水の自然保護を考える会 萩本悦久ブログ	「玉川上水・分水網の形成過程と関連遺構」について学ぶ人気の講座	https://ameblo.jp/yoshi-hagi/
45	立川市民オペラ2022	音楽・演劇	立川市民オペラの会	ガラコンサートのビデオ、ソリストオーディション等 関連記事多数	https://www.facebook.com/tachikawacitizenopera/
46	立川市役所ロビーコンサート（動画）	音楽	（公財）立川地域文化振興財団	立川市役所ロビーで行われる無料のコンサート 立川以外の各地のロビーコンサートも視聴出来る	立川市役所ロビーコンサート - Bing video
47	立川男女平等フォーラム 基調講演 田中優子さん	文化・教養	男女平等参画課	広報紙から 法政大学名誉教授の田中優子さんの基調講演 「女性にとっての自立と自由」の案内	2022_0510_01.pdf (tachikawa.lg.jp)
48	立川の子どもたちを応援！科学教育センター	科学・教育	立川サイエンス・ひとネット	わくわく楽しいサイエンス、なぜ？を深めるサイエンスを発信	https://ameblo.jp/bunka-kagaku
49	第4回「立川の農」写真コンテスト	美術・農業	農業振興課農業振興係	あなたが感じる立川の「農」を写真にしてみませんか	「立川の農」写真コンテスト 立川市 (tachikawa.lg.jp)
50	立川発！オリジナル演劇作品「西遊記」上演	音楽・演劇・舞踊	立川市地域振興財団の動画	立川シアタープロジェクトによって始まった 子どもとおとなと一緒に楽しめる舞台名作文学を題材に 世代を超えて観られる演劇をクリスマスに大劇場で上演する	立川発！オリジナル演劇作品「西遊記」上演 - Bing video
51	たちかわ真夏の演劇祭	演劇・音楽	立川演劇祭実行委員会 （公財）立川地域文化振興財団	多摩地区に「演劇文化」の芽を育てようと立川市地域文化振興財団と 市民スタッフにより運営され 毎年8月に立川市民会館で演劇祭を 企画運営	（主催）第30回たちかわ演劇祭 公益財団法人立川市地域文化振興財団 (tachikawa-chiikibunka.or.jp)
52	第8回 立川名画座通り映画祭	映画	立川名画座映画祭実行委員会	第8回映画祭 アマチュアからプロまで自主制作映画の祭典 プログラムと入賞作品の発表	立川名画座通り映画祭 (tachikawaeiga.com)
53	立川ビルボード	全分野	立川市文化芸術のまちづくり協議会	立川ビルボードのHP news event report artists gallery&café tachikawa history other が見やすくとめられている	https://tachikawa-billboard.com

54	立川ゆかりの日本画家 郷田丹陵を学ぶ会	美術	案内役 (公財)立川地域文化振興財団	日本古来の大和絵を継承し、昭和10年に完成した《大政奉還》を砂川村で描いた歴史画家の郷田丹陵についてパネルや画像を使い丹陵と立川の関わりなどを学ぶ	https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp/a13-20220923/
55	【参加者募集】たちかわワークショップフェスタ2022	アートワークショップ	今デカケル多摩の情報ポータルサイト イマ×タマ	子どもから大人まで楽しめる様々なジャンルのワークショップを2日間開催	https://imatama.jp/event-page/index/5700
56	多摩の博物館に行こう！	学術	東京都三多摩公立博物館協議会	東京 多摩の博物館・資料館ポータルサイト	http://www.tamahaku.jp/tckw
57	たまみらギャラリー	美術・建築	たまがわ・みらいパーク企画運営委員会	廃品を利用し新たな命を吹き込むジャンクアーティスト 田中梅夫氏（現代庭イマジン）の作品展示ギャラリー	http://miraipark.net/2110-2/
58	誰でもわかる！楽しめる！オペラ1時間講座	音楽・演劇	立川市市民交流大学	第1回「蝶々夫人」第2回「リゴレット」第3回「ボエーム」	【受付終了】団体企画型講座「誰でもわかる、楽しめるオペラ1時間+α講座」 立川市 (tachikawa.lg.jp)
59	チャボヒバホール	音楽・建築	チャボヒバホール	優れた音響効果を持つ、約100席の小さなホール 身近で文化・芸術を楽しめる場	https://chabohiba.jp
60	中高生と創るシェイクスピア劇	演劇	たちかわシェイクスピアプロジェクト実行委員会	シェイクスピア作品を題材に、多摩地域の中高生を対象にした 演劇ワークショップを実施、成果発表として演劇公演を行う	https://syake-speare.com/tsp-all/post-1956.html
61	ホテル祭り 立川新生小学校	環境保全・文化・教育	立川経済新聞	6小の立川市民科の授業で 地域住民と共に用水のホテルを保全する活動を行っている 6月4日、6日にホテル祭りが開かれた	https://tachikawa.keizai.biz/photoflash/1688
62	南極観測	学術	国立極地研究所	国立極地研究所では日本の南極観測や観測隊の現在の活動について国民の皆様にも広く知っていただくため様々なイベントや資料提供を行っている	南極観測のホームページ 国立極地研究所 (nipr.ac.jp)
63	令和3年度12月 西砂学習館運営協議会 会議録	協働	西砂学習館運営協議会	運営に関わる方々の真剣な話し合い 他の運営協議会の様子もここから検索できる	https://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/iinkai/shingikai/gakushukan/nishisuna/documents/r0312_nishisunaunkyougijirokugaiyou.pdf
64	根川緑道の桜の保全活動	緑地・樹木林等保全	NPO法人 集住グリーンネットワーク	立川公園根川緑道の桜の保全として簡単な土壌改良を行ったその様子を紹介	https://www.facebook.com/hegawasakura
65	ファーレ立川アート ナイトツアー	美術	立川動画チャンネル	ファーレ立川には夜になると光るアートがたくさんある 秋の夕暮れ、昼とはとは違う表情を見せる街をファーレ倶楽部が案内する	ファーレ立川アート ナイトツアー - Bing video
66	ふれあい作品展	全分野	立川市老人クラブ連合会	書道、絵画、写真、文芸、造形などの作品展示	老人クラブ連合会会報 https://www.city.tachikawa.lg.jp/fukushisomu/kenko/fukushi/koshsha/ikigai/kaihou.html 立川市 (tachikawa.lg.jp)
67	第二回平和の心コンサート (2019)	音楽	立川ユネスコ協会	「戦争は人の心の中で生まれるものであるから 人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」この理念に基づき立川ユネスコ協会は音楽の美しさ、楽しさを通じ、平和の心を発信したい	(後援)第2回 平和の心コンサート 立川ユネスコ協会 公益財団法人立川市地域文化振興財団 (tachikawa-chiikibunka.or.jp)
68	BONZE WORKS	美術	赤川政由	立川米軍ハウスにて銅細工を作成人形や看板、アクセサリーなど多岐に渡る 公共事業の作品も多く全国各地に作品が存在する	https://www.bonze-works.com/
69	真夏の立川怪奇クラブ	演劇	すこやかクラブ	真夏の学校で繰り上げられる、ちょっと不思議なお話を テーマとした短い演劇作品をたちかわ創造舎内で複数上演劇などの芸術文化に触れる機会の少ない客層にも届ける	https://www.sukoyakakurabu.com/blank-1
70	ロバハウス	音楽・建築	ロバの音楽座・カテリーナ古楽合奏団	こころあたたまる「音と遊びの音楽」を子どもたちに 中世・ルネサンス時代の古楽器や空想楽器により繰り上げられる音のファンタジーワールド	ロバの音楽座 (aruiya.w+F67:H67ixsite.com)
71	ようこそ たちかわ多文化共生センターへ！	多文化	NPO法人 たちかわ多文化共生センター	立川及び近隣都市に在住する外国人を支援するNPO法人	http://www.tmc.or.jp

※HPアドレスは、タイトル画面がワンクリックで出るように設定。期間設定頁は開かない場合があります。

令和４年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ 【 青少年のための国際交流公演 】

氏名【 堀江 けんいち 】

- ・現在青少年を対象とする国際交流公演を行っているが、コロナの影響で海外からの招聘が３年間でできずにいる。
来年度は状況が少し良くなっているのに、出来そうな状況。
しかし、燃料費の高騰で航空料金が倍近い高騰で招聘費用が幾らになるか気掛かりの現状。ウクライナ戦争が来年も続きそうな状況なので限られた予算の中でどう工面をしていくかが課題。
- ・立川市文化協会の現状は協会の年齢層が高くなっていること。今の若い人は積極的に他人との交流をするのが不慣れな人が多い。
展示会場に行くとお年寄りの趣味の作品が殆どである。趣味を持っていてもそれをどう社会の中で活かすかがわからないし、恥ずかしい、という状況。
これは学校での状況が影響していると思われる。
上の国際交流の時もそうだが、海外からの青年と、日本の青年たちとの行動を見ても同じ状況がみられる。
- ・人との交流、関係から生じる問題をこなしていく生きるすべを育まないと、一人で悩んだり、他人の意見を遮断して自分の要求だけ強く言うセルフフィッシュな人間に育ち、当然解決不可能な状況に追い込まれることになる。
学校を含めた大きな課題です。

学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進

- ・大学における文化芸術活動への参加（瀧川副委員長）
- ・アール・ブリュットの活動状況（玉川委員）
- ・学生や子どもなど若者の文化芸術活動への参加（矢内委員）

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 大学における文化芸術活動への参加について 】

氏名【 瀧川 淳 】

以下では、国立音楽大学における文化芸術活動への参加の事例を述べる。

国立音楽大学では、現代社会に対して音楽の魅力を発信するとともに、音楽の必要不可欠な存在意義を広く社会に知らしめてゆくことを目指して、地域連携、社会貢献を積極的に行ってきた。

国立音楽大学は、立川市に位置し、東京多摩地区にある唯一の音楽大学として、立川市、国立市、武蔵村山市、青梅市等と連携・協力協定を結んでおり、各地域の音楽文化振興の発展を目的に、本学教員や学生による演奏会、またワークショップ、レクチャーなどを市民対象に企画実施してきた。以下は、立川市との連携協定に基づくいくつかの実例である。

1. 「国立音楽大学コンサート早春の室内楽」(2022/3/27、たましん RISURU ホール)
https://www.kunitachi.ac.jp/event/concert/other/20220327_01.html
2. 「成人を祝うつどい」における国歌及び声楽独唱(2022/1/10、たましん RISURU ホール)
https://www.city.tachikawa.lg.jp/kodomoikusei/2022sei_jinnwoiwautudo3.html
3. 「柴崎福祉会館クラシックコンサート」(2022/9/17、柴崎福祉会館大会議室)
https://www.city.tachikawa.lg.jp/fukushisomu/event/fukushikaikan_conert.html
4. 「こころの健康教室『音楽ではぐくむこころの健康～大切な音楽を想う、聴く、語る～』」(2022/3/12、女性総合センターアイム)
<https://www.chokai.info/areanews/020084.php>
5. 「生演奏で楽しもう！ジャズの魅力」(2021/11/28、錦学習館講堂)
6. 「クラシック音楽入門講座」(2022/7/31、2022/8/13、2022/8/21、2022/9/17、2022/10/2、西砂学習館視聴覚室)
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/event/siminkikaku/documents/classic2022.pdf>

また立川市以外では、音楽愛好家や子供を対象としたオーケストラ演奏会やブラス・オーケスタ(吹奏楽)演奏会を定期的に開催し、市立小学校にてオーケストラ鑑賞教室等も開催している。

その他、産学連携と通した社会貢献活動も行っている。例えば、公益財団法人新国立劇場運営財団や公益財団法人東京オペラシティ文化財団と連携協定を結び、人材育成・人材交流を行っており、また一般社団法人立飛教育文化振興会やカンロ株式会社とも

協定を締結している。カンロ株式会社とは、平成 30 年に「ボイスケアのど飴」を共同開発している。

大学単体での社会における文化芸術活動への発信は、演奏芸術センターを中心に、多種多様な演奏会やイベントを企画公開している。

例年、国内外の著名指揮者を招いたオーケストラ、吹奏楽、オペラなどの本格的な演奏会や特別レッスンを開催しているが、これらは無料ないし安価な料金（500 円～2000 円）で提供され、地域の方々からも好評を博している。これらの企画は、新型コロナウイルス流行以前には、年間 70 企画を超える。ちなみに、本学主催で開催する定期公演は、「ブラスオルケスター定期演奏会」、「打楽器アンサンブル定期演奏会」、「声楽専修合唱演奏会」、「作曲作品展」、年 2 回の「ソロ・室内楽定期演奏会」と「オーケストラ定期演奏会」、「シンフォニック ウインド アンサンブル定期演奏会」がある。また毎年 10 月に開催される「大学院オペラ公演」2022 年現在、すでに 59 年の歴史を持つ。

国立音楽大学では、児童生徒、また音楽愛好家を対象に「いい音だそう」、「いい声出そう」をテーマとしたワークショップを例年 6～9 月に開催している。一人ひとりのレベルに合わせたミニレッスンや講座を実施し、最終日には修了発表会や講師演奏を開催するワークショップをジャンル毎に行っている。また乳幼児を対象とした音楽教育にも力を入れている。例えば、乳児から入場できる「ファミリー・コンサート」は特に人気の高い演奏会で、親しみやすい名曲の数々を、本学の教員、卒業生、在籍学生で結成するオーケストラ「クニタチ・フィルハーモニー」が奏でる。

さらに国立音楽大学は、教育研究機関として教育研究の成果を社会へ発信し、また市民参加を促している。社会に向けた教育研究活動として「ディプロマ・コース」、「夏期音楽講習会」、「ミュージック・アトリエ」が挙げられる。「ディプロマ・コース」とは、音楽大学卒業程度のレベルの音楽愛好家を対象とする実技レッスン・プログラム。「夏期音楽講習会」は、年齢、キャリアを問わず、一般市民を対象とした音楽講座であり、楽器や歌の講座、また音楽理論やリトミック、音楽教育の講座が開講されている。そして「ミュージック・アトリエ」では、幼児から大人まで、個々人のペースに応じた専門的なレッスンを提供している。

また研究施設として、附属図書館と楽器学資料館があり、新型コロナウイルス流行以前は、学外利用者の利用を認めてきた。

以上の取り組みは、国立音楽大学ホームページ（ <https://www.kunitachi.ac.jp/> ）で確認することができる。

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 アールブリュットの活動について 】	氏名【 玉川 宗則 】
<p>アールブリュット 現在アールブリュット立川では、立飛リアルエステートさんの外壁に壁画を描いています。そのほかにも、グリーンスプリングスさん地域の施設さん、駅前のタクロスミニギャラリーさんなどで展示をさせていただいています。</p> <p>立飛リアルエステートさん壁画 現在進行中です、コロナ禍では、暑い季節などマスクをつけての作業はやはり障がいのあるなしにかかわらずにみなさんたいへんそうでした。ボランティアの方もいらしてきてくださり、壁画制作に欠かせない下地づくり、完成後のコーティング、ペンキの提供（廃棄ペンキ再利用含む）を昭島の田島塗装さんがボランティアで行ってくださいました。 アールブリュット立川のスタッフさんも、壁画を描かれている作業所の方も、ご高齢の方もいらっしゃる、暑い中や寒い中現場に立たれているのが心配でした。 いくつかのメディアもきてくださり、清水市長も見に来てくださっていました。</p> <p>グリーンスプリングス グリーンスプリングスさんでは、PARA HOOP FES!として、障がいを持ったアールブリュットアーティストの作品展や市内の福祉作業所、福祉団体などによるマルシェ、などのイベントが行われました。作家や、各団体の活動内容のお知らせ、グッズや作品販売による福祉施設、団体、作家の収益になりました。</p> <p>女性総合センターでの展示 女性総合センター一階のギャラリースペースでアールブリュット立川の作品展がおこなわれました。</p> <p>高松学習館での展示 毎年行われている高松学習館でのアールブリュット立川の展示が今年も開催されました。 地域の方々の身近な場所での展示となりました。</p> <p>タクロスミニギャラリー 今年も立川駅北口駅前のタクロスミニギャラリーでアールブリュット立川の</p>	

展示がおこなわれました。人通りの多い場所での展示で作家にとっても、とてもやりがいのある場所になっております。

以上、アールブリュット関連のご報告でした。

最近は大いぶ減ってきたように思えますが、コロナ禍での活動の制限はかなりあるようです。

コロナ前に行われていた小学生とアールブリュット作家のコラボアート企画も中止になっていましたが、年末あたりから再開される見込みとなっております。

止まっていた活動が、様子を見ながら徐々に再開されてきている状態かと感じています。

私自身も、コロナがはやり始めた当初は向こう数か月の仕事がすべてキャンセルになりましたが、以前のようにはなりません、最近は大いぶ戻ってきているように感じています。

令和４年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 学生や子どもなど若者の文化芸術活動への参加 】

氏名【 矢内 はな恵 】

・新型コロナウイルス感染症の影響で、長らく、子どもたちが文化芸術の鑑賞・体験をする機会が多く失われてきましたが、今年に入り、公演や興行、地域のお祭り等が再開され、子どもが文化芸術に触れ合う機会がようやく戻ってきたと感じています。特に、夏休みには子どもと大人と一緒に楽しむ公演が立川市を含む都内各地で開かれ、子どもと共に公演に足を運ぶ機会がありました。

・私自身、子どもと共に市内の文化芸術に関連する事業に参加しました。立川いったい音楽まつり、グリーンスプリングでの「たちかわ妖怪盆踊り」、シネマシティ（シネマツ）のフリースペースで開催されている立川市で撮影された映画のロケ展示や廃品を再利用したジャンクアートの展示、小学校演劇体験事業「森は生きている」鑑賞会です。特に印象的であったのは、小学校演劇体験事業で、子どもたちが目を輝かせ、舞台上で繰り広げられる物語を真剣に観ている姿です。

・コロナ禍にあって、子どもたちを対象としたイベントにもオンラインによるものが増えました。しかし、生の舞台を観て、俳優や音楽家を目の前に感じることで、感情が揺さぶられ、それが心の成長や豊かさに繋がっていくと考えています。息子は、小学校演劇体験の演劇が楽しかった様子で、今年 12 月にたましん RISURU ホールで開催予定の『青い鳥～チルチルミチルの冒険～』（たましん RISURU ホール）やそれに関連するワークショップを、今から心待ちにしております。

・定期的に舞台に触れ合える場として、たちかわ創造舎の「ほうかごシアター」があります。関心はあるものの、すぐに定員に達してしまうことが多く、土日を含めた複数回の公演をしていただけると有難いと感じています。

・私も、子ども向けの音楽ワークショップを企画運営している立場にありますが、昨年度まではコロナ禍を踏まえ、参加者を大々的に募ったり、広報したりすることは難しい状況が続きました。今年は、参加者募集も問題なくできそうであり、徐々にイベントも再開されつつあると実感しております。

文化財・伝統文化の継承、市史の編さん

- ・現在の市史編さんの状況（事務局）
- ・文化財の保存・活用について（宇治委員）

令和４年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 立川市史編さん事業 】

氏名【 産業文化スポーツ部市史編さん係 小川 始 】

市史編さん事業は、平成 28 年 3 月 1 日に策定された「立川市史編さん基本方針」に基づいて、平成 27 年度から 10 年間の予定で実施されています。「先史」「古代・中世」「近世」「近代」「現代」「民俗・地誌」の 6 部会を組織し、資料の収集・調査、聞き取り等を行い、市史の編集を進めています。また、事業の周知として、市史編さん広報紙「たちかわ物語」の発行や、関連講演会の開催を行っています。

【刊行状況及び予定】

既 刊	
資料編	調査報告書
地図・絵図（平成 30 年度）	鈴木家文書目録（平成 29 年度）
古代・中世（平成 31 年度）	向郷遺跡（平成 30 年度）
近世 1（令和 2 年度）	立川市域の古墳時代（令和 3 年度）
近代 2（令和 2 年度）	大和田遺跡（令和 3 年度）
現代 1（平成 31 年度）	砂川青年団資料集（平成 30 年度）
柴崎の民俗（平成 31 年度）	柴崎の口承文芸（令和 2 年度）
予 定	
資料編	調査報告書
先史（令和 4 年度）	古代中世の考古・石造物・美術工芸（令和 4 年度）
近世 2（令和 6 年度）	
近代 1（令和 6 年度）	
現代 2（令和 6 年度）	
砂川の民俗（令和 5 年度）	
写真集（令和 5 年度）	
本編	別編
通史（上・下）（令和 7 年度以降）	近代テーマ編（令和 7 年度以降）
	現代テーマ編（令和 7 年度以降）
	民俗・地誌編（令和 7 年度以降）
	普及版（令和 7 年度以降）

【課題等】

- 新型コロナウイルスの影響により、事業の進捗に遅れが生じており、当初の 10 年間で終了することが困難な状況であるため、事業期間の延長を検討しています。
- 事業を通じて収集した資料や庁内の歴史公文書について、事業終了後の保存・活用方法を検討する必要があります。

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 文化財の保存・活用について 】

氏名【 宇治 康 】

歴史上・芸術上・学術上・観賞上等の観点から価値の高い有形文化財、無形文化財、民族文化財、記念物・文化的景観・伝統的建造物群の6種類が指定の有無にかかわらず「文化財」に該当します。

当財団が保存している資料についても文化財に通ずるものがあるため、財団の活動について報告することがテーマの報告にもつながるため、当財団の「歴史資料室」の取り組みについて報告させていただき、テーマについての報告とさせていただきます。

1. たましん地域文化財団「歴史資料室」の保存資料について

(多摩信用金庫国立支店5階)

・図 書 約24,900冊

独自分類表(地域、主題)に基づいて分類 開架、閉架、別置

各自治体発行の逐次刊行物や論文抜刷は図書扱い

・雑 誌 約15,600冊

9種に分けて分類

TA 多摩地域を対象にした歴史系雑誌	TB 多摩地域を対象にしたタウン誌
TC 多摩地域を対象にした文芸誌	TD 多摩地域を対象にしたその他
PA 一般の歴史系雑誌	PB 一般のタウン誌
PC 一般の文芸誌	PD 一般のその他
U 大学・研究機関の紀要など	

・地 図 約1,780枚

MA……国土地理院(旧・陸軍参謀本部)発行の旧版地図、フランス式地形図、迅速図

MB……国土地理院発行以外のもの

・絵葉書 約6,380枚

・チラシ・リーフレット 約520枚(1964年以前のもの)

・ポスター 約4,280枚

・写 真 約 36,900 点

伊与田昌男コレクション 約 28,100 点 地域分類写真 約 4,900 点

主題分類写真 約 2,200 点

あゆみ執筆者顔写真 約 1,050 点

空中写真 約 670 点 昭和 11～19 年代日本陸軍、昭和 19～23 年米軍撮影

・包装紙 約 1,880 点

上記の多摩の歴史・文化に関する地域資料を長年かけて収集し、所蔵しています。分類・整理した資料は、広く市民や研究者の方々へ公開しています。

2. 「多摩のあゆみ」について

昭和 50 年（1975 年）に創刊した季刊郷土誌「多摩のあゆみ」は、東京都西部に位置する多摩地域の歴史・民族・地理・自然などをテーマに、論考や情報などを掲載しています。読者の方へ、多摩の過去から現在に至るさまざまな事柄を知るための手がかりを提供しています。年 4 回、現在 187 号まで発刊し、多摩信用金庫本・支店で無料にて配布しております。

3. デジタルアーカイブについて

当財団ではHPにおいて、2017 年 9 月に『多摩のあゆみ』バックナンバーのうち創刊号～第100 号までを、デジタルアーカイブで公開しました。翌2018 年11 月には、『多摩のあゆみ』バックナンバー第101 号～第120 号までと、歴史資料室で所蔵する絵図・地図とチラシを追加公開しました。

公開当初、ひと月約10,000pv（page view: ページへのアクセス数）だったアクセス数は、『多摩のあゆみ』の追加と絵図・地図とチラシを公開すると15,000 pv に増えて、その後は20,000 pv を前後するようになりました。

歴史資料室をコロナ禍において臨時休館した2020 年 3 月のアクセス数は28,000 pv に急増し、4 月は33,000 pv、5 月は41,000 pvと増えていきました。多くの人たちが長時間自宅で過ごす生活を強いられ、図書館や博物館も臨時休館するなか、インターネットで情報収集する人や機会が増えた結果でしょう。

この間、リモート会議やオンライン講演会、Web 展示会が各地で開催されるようになりました。また、各種資料群をデジタルアーカイブで公開する機関も増えてきました。

こうしたなか、当財団歴史資料室では令和2年11 月30 日にデジタルアーカイブの内容を更新しました。全体のデザインを変更して、地図とチラシの資料を追加しました。さらに、絵葉書3100 余点（多摩地域を主として、全国各地、海外）を新たに公開しました。絵葉書はマップやサムネイル、テーマ、リストなどから直感的に検索で

きます。袋入の複数枚の絵葉書セットは、まとめてご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症への対応は長期化が予想され、インターネットを利用した情報発信はさらに重要性を増していきます。当財団でも、『多摩のあゆみ』バックナンバーや各種資料群のデジタルアーカイブ化に今後とも取り組んでいきます。

4. 資料検索システムの統合検索

NP0法人共同保存図書館・多摩と連携・協力して、当財団所蔵図書の書誌情報を都立図書館や市村立図書館などと統合的に検索できる仕組みの実用化に向けた研究会に参加しており、今後更に多くの方に当財団の資料を公開し、活用していただく体制にしていきます。

5. 今後の課題

・収蔵スペースの不足、設備等の老朽化

将来的に収蔵スペースの不足、設備の老朽化等が予想されるため、設立母体である多摩信用金庫と連携して、財団全体としての方針を検討していく必要があります。

・コストの問題

限られた予算の中で事業を運営しており、デジタルアーカイブ化等新たな取り組みについては費用が発生するため、資金調達をどうするか検討が必要になってきます。寄付金、公的な補助金、助成金だけでは補えない面もあるため、こちらについても多摩信用金庫と連携して、財団全体としての方針を検討していく必要があります。

6. 個人的な意見

文化財の保存と活用は、車の両輪であり、保存と活用の循環により価値創出がされていくものだと思います。文化財を継承していくためには、多くの人がある魅力に触れ価値を感じることが必要です。新たな価値を創出するという意味では、国が推奨している文化観光は文化財の保存・活用を推進していく重要な取り組みのひとつであり、文化観光推進事業者等との連携は今後重要になってくると思います。また、文化財の保存・活用の拠点となる歴史民俗資料館のあり方についても引き続き検討していく必要があると思います。

多様な主体や他の分野との連携・交流の促進

- ・ 財団の連携・交流の状況（事務局）
- ・ 青年会議所の文化芸術活動との連携・交流（都築委員）
- ・ 立川文化芸術のまちづくり協議会や自身の活動の中での連携や交流（成清委員）

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 財団の連携・交流の状況 】
氏名【 公益財団法人立川市地域文化振興財団 足立 香織 】
<p>◎文化芸術団体との連携・交流</p> <p>・立川市内の団体</p> <p><u>「立川市文化協会との連携」</u></p> <p>財団で開催した「子どものためのお箏教室」の公演を文化協会のフェスティバル（舞台芸術）の中で実施。</p> <p>財団で開催した大人のためのバレエ教室の生徒が文化協会のバレエ公演に参加。</p> <p><u>「立飛ホールディングス創立100周年記念事業との連携」</u></p> <p>夏の＃たちフェスに財団関連団体の出演。クリスマスコンサートに立川市民オペラ合唱団が参加。</p> <p><u>「立川シアタープロジェクト実行委員会」</u></p> <p>立川市、たちかわ創造舎（NPO 法人アートネットワーク・ジャパン）で実行委員会を結成し立川での演劇文化の振興を図る。</p> <p>・立川市外の団体</p> <p><u>「多摩フレッシュ音楽コンサートの開催」</u></p> <p>多摩公立文化施設協議会（全25館）での共同事業の事務局を担う。</p> <p><u>「東京文化会館ミュージックワークショップの開催」</u></p> <p><u>「キッズ伝統芸能体験事業の開催」</u></p> <p>東京都・東京都歴史文化財団（東京文化会館、アーツカウンシル東京）と連携し、開催。</p> <p><u>「一般財団法人 地域創造の「おんかつ」事業との連携」</u></p> <p>全国各地で開催している「おんかつ事業（公共ホール音楽活性化事業）」のサブコーディネーターとして長崎県佐世保市のホール、宮城県角田市のホールへ職員を派遣。</p> <p>◎学校との連携・協力</p> <p><u>「小学校訪問事業」</u></p> <p>小学校では市内全小学校へ音楽訪問事業を開催。そのほか、落語、美術、ダンスのジャンルで訪問事業を実施。</p> <p><u>「小・中学校吹奏楽クリニック」</u></p> <p>希望の小・中学校で吹奏楽クリニック事業を実施。</p> <p>講師に国立音楽大学の学生や自衛隊の音楽隊を招き各パートに分かれてレッスンをを行う。</p>

「国立音楽大学コンサート」

国立音楽大学との連携事業としてアイムホールにて学生のコンサートを、3 月にはたましん RISURU ホール大ホールにて学長を中心とした先生方によるコンサートを開催。

◎その他各団体との連携

様々な団体で構成される実行委員会の事務局を担う事によって、立川商工会議所や立川商店街連合会などの商業団体や自治会連合会、社会福祉協議会等と連携を図る。

立川よいと祭り実行委員会事務局、たちかわ楽市実行委員会協働事務局、
ファーレ立川アート管理委員会協働事務局、立川市民オペラの会事務局

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

テーマ【 文化芸術活動との連携について 】

氏名【 都築 諒 】

1、公益社団法人立川青年会議所について

立川青年会議所は 1965 年に全国で 300 番目、東京では 2 番目の青年会議所として設立。会員数 68 名、OB400 余名を有し、立川・国立・武蔵村山の 3 市を活動エリアとして、『まちづくり・ひとづくり』運動を展開しています。また組織・役員・事業などは「組織の活性化、事業の斬新性」を保持するために 1 年毎に変わる『単年度制』の運営を行っています。

『奉仕・修練・友情』を JC 三信条とし、よりよい社会作りを目指す青年経済人の集まりです。『明るい豊かな社会』の実現を理想として、次代のリーダーとして自覚と責任感をもった 20 歳から 40 歳までの青年で構成される団体です。国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、自由に個人の意思によって入会出来ます。(会員数は 68 名 2022 年 10 月)

活動内容は以下、定款に沿ったものになります。

- (1) 地域社会の産業経済の健全な発展を目的とするため、地域社会における次世代のリーダーを育成する事業
- (2) 地域社会における文化向上・まちづくりへの市民参加意識向上に関する事業
- (3) 地域社会における青少年健全育成等に関する事業
- (4) 地域社会における国際化の推進に寄与する事業

代表的な事業として、わんぱく相撲、公開討論会、地域の祭り参画（よいと・楽市）等があります。



近年の代表事業は以下です。

- ・ 第 45 回東京ブロック大会開催。東京にある 24 の青年会議所が集う（2016 年）
- ・ SDGs 初年度として活動。環境大臣政務官より感謝状を授与（2017 年）
- ・ キッズドリームチャレンジ実行委員会の設立（2018 年）

- ・立川・国立・武蔵村山の3市との「SDGs 協働推進宣言」の締結（2019 年）
- ・3 市 39 校の小学校へアルコール消毒液を配布（2020 年 5 月）
- ・国立市・武蔵村山市の社会福祉協議会と「災害時における協力体制に関する協定」の締結（2021 年）

2、文化芸術活動との連携について

（1）開催事業について

前段に記載した当会の定款（2）、（3）に基づく主な事業は以下になります。

・参画

よいと祭り、たちかわ楽市（立川市）、くにたちさくらフェスティバル、くにたち秋の市民まつり、どんど焼き（国立市）、村山デエダラまつり（武蔵村山市）

・主催

子ども未来塾、わんぱく相撲

・概要

■よいと祭り

2021 年のよいと祭りは中止であったが、当会単独で提灯の絵付け事業を開催。市内の幼児児～小学生を対象。テーマは「立川の好きなところ」。

後援として「立川よいと祭り実行委員会」、会場は「たましん RISURU ホール」にて 8 月 5～12 日、90 名参加。

2022 年はよいと祭り会場の一角にて提灯・グラスキャンドルを展示。テーマは「世界平和」。100 名参加。新たな試みとして立川駅にて 7 月 16、17 日の 2 日間展示。

後援として「立川市教育委員会」。

■たちかわ楽市

2018 年は「パソコン解体体験、ボッチャ体験」を実施。191 名参加。ボランティアとして星槎国際高等学校から 12 名参加。

2019 年は「立川の廃棄野菜を活用した化学実験広場」を実施。75 名参加。JA 東京みどり、東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST4 名が協力。

2022 年は「熊手つくり体験」を出展予定。75 名先着。

■子ども未来塾

「ICT」を軸に主体性と創造性を育む青少年育成事業。（2021 年は「食育」、2022 年は「食×運動」がテーマ）

【飲食店×農家×ICT×子ども】を軸に、「生きる力」の涵養。全 5 回の行程（全体ミーティング、個別 WEB ミーティング×2、収穫体験、発表会）をベースに各班

単位で活動。

対象は 2021 年立川市の小学校 4～6 年生 20 名、2022 年は 3 市対象 60 名。

後援は 2021 年「立川市、立川市教育委員会、立川観光協会、立川市商店街振興組合連合会」。

参加飲食店は 5 社（中国料理鴛鴦、エミリーフローゲ、路地裏ダイニング Brio、創作和食榎本哲也、ビストロこづ）、農家は 3 社（伊藤養鶏場、小山農園、高橋果樹園）

2022 年は「立川市教育委員会、国立市教育委員会、武蔵村山市教育委員会」、協力は「実践女子大学、（一社）多摩スポーツクラブ」。

参加飲食店は 6 社（中国料理鴛鴦、創作和食榎本哲也、立北ダイニング、シンボパン、MOTHERS ORIENTAL、炭とワイン ビビ立川本店）、農家は 6 社（伊藤養鶏場、小山農園、高橋果樹園、乙幡農園、山下農園、西野農園）

・ わんぱく相撲（2020、2021 年は中止）

2019 年は立川・国立・武蔵村山の 3 市各地で開催。約 1000 名の幼児、小学生が参加。

2022 年は 3 市合同にて開催し、小学校高学年 100 名の小学生が参加。後援は「3 市教育委員会、3 市体育協会」、協力は「立川練成館、武蔵村山市立第十小学校」。開催地は「柴崎市民体育館」。

・

（2）現状について

コロナ禍（2021～2022 年）における参加者動員は概ね好調です。コロナ禍によるイベント不足のせいか、概ね定数の 3 倍程度の応募がありました。ただしコロナ禍における人数制限による事業の縮小化、消毒液等の備品経費の増加による立川青年会議所メンバーの負担増や、特に公共施設の会場確保が困難を極めました。またオンラインに対応すべく、機材の購入や操作方法の習得なども同様です。

国際交流の機会、特にオンラインを除いたリアルな交流の機会創出が困難な状況です。2023 年は状況にもよりますが、国際交流の機会を創出していく予定です。

（3）その他

後援として地域の各種芸術活動や諸団体等を支援しています。

2022 年は新たに帝京大学書道部と連携し、作品制作を行っていただきました。

令和4年度立川市文化振興推進委員会報告書

<p>テーマ【 立川文化芸術のまちづくり協議会や自身の活動の中での連携や交流 】</p>
<p>氏名【 成清 北斗 】</p>
<p>「自身や身の周りでのテーマに対する現状」</p> <p>立川文化芸術のまちづくり協議会については本年度積極的に参加することができていないため、特に筆者が代表を務める非営利芸術活動団体 Nomad Art ノマドアート（以下：本団体）の現状について述べたい。</p> <p>本団体は 2015 年の設立以来、立川市内での多様な市民を対象とした活動である作品展の開催や造形ワークショップの実施を通じ、地域との連携や交流関係を築いてきた。</p> <p>文化芸術を介した市内公共施設の活用法提案による指定管理者との連携、地域のアーティストやボランティアとの協働、活動周知による他団体との交流などである。</p> <p>それらを経て、本年度は活動をより包括的な市内の文化芸術振興へと発展させるべく、公共施設に限らない会場利用と、より具体的な連携や交流を生む活動内容を計画した。具体的には次の通りである。</p>
<p>令和4年度の主たる活動</p> <p>・内容</p> <p>多摩信用金庫本店本部地域貢献スペース※にて、専門家や愛好家でなくとも理解、共感が得られるような手法による、多様な市民のポートレート作品展を開催する。作品展終了後、市内企業、公共施設などへ作品寄贈、貸与をする（検討中）。</p> <p>※令和2年に立川駅北口の GREEN SPRINGS 内に移転された多摩信用金庫本店本部2階に多摩地域の若手アーティストや学生、社会貢献に資する団体が利用できるスペースとして開設（筆者注）</p> <p>・目的</p> <p>まず、スペースを提供する側、利用する側といった立場を超えた市内の文化芸術振興実現に向け、地域で活動するアーティストおよび非営利芸術活動団体としてスペースの活用法や連携について積極的な提案をすることによって新たな関係のあり方を探ることである。</p> <p>また、市民が鑑賞者としてのみならず、ポートレートの被写体になるという主体的な作品展との関わりを築くことによって、文化芸術による新たな交流の可能性を提示したいと考えている。それらの経験によって、市民が我がこととして文化芸術活動を身近に感じ、地域の文化芸術の置かれている現状や仕組みなど、様々なことがらへも興味関心を抱くことにつながることを期待する。</p> <p>さらに開催場所は、新設された商業施設内に位置することから、非営利活動や市民活動とは結びつきづらい企業や市民にも活動を周知することができるため、新たな広</p>

がりが期待できることである。そして作品展終了後に展示作品を寄贈、貸与することで長期的な活動としての発展や活動支援のきっかけ創出といった新たな連携、交流に繋がたいと考える。

「テーマについての活動等を行っている上で感じている課題」

活動を充実させるためには、他者との連携や交流関係を築く必要が生じるが、そこにはいくつかの課題がある。筆者および本団体は文化芸術の中でも、アート、美術活動を行っているため、以下の三点に絞って課題を述べる。

・会場利用について

作品展を開催する場合、当然会場が必要となる。しかし、本団体の活動は非営利であることに加え、現時点では自発性にのみ基づいている。そして、その多くは前例のない活動であることから、会場利用実現のためには、その都度意義を伝え施設管理者の共感を得ることや、様々な仕組みについての調査が必要となってくる。つまり、連携に至るまでには多くの時間や労力を欠かすことができず、活動内容そのものの充実に注力することが難しくなるということである。さらに、施設の制約などから必ずしも希望通りの活動が実現しないこともあげられる。

・他団体について

関係先それぞれの活動趣旨が異なるということが、連携や交流を難しくする一因ともなることである。例えば、市内に文化芸術を取り扱う団体や個人は多数存在するが、活動方針や内容、あるいは専門性の差（質）といった点からも、具体的な連携や交流が難しくなることがある。様々な活動主体が存在すること自体は望ましい一方で、目的を同じくした連携や協力を通じた包括的な活動への発展には課題が残る。

・支援について

人的支援：非営利であることから、専門性を有する内容であっても正当な対価を協力者に支払うことができず、善意に頼ってしまうことや、特に専門性を必要としない内容に限りボランティア等の協力を得るにとどまるということが多い。そのような状況において協力関係を維持発展させることは難しいといえる。

経済的支援：非営利活動への支援は福祉といった点に向けられることが多く、文化芸術活動そのものへの支援は希薄であるように感じる。よって、支援への見返りとなるわかりやすいメリット提供の方法を構築することが必要であると考ええる。

「テーマについての自身の思いなど」

社会における文化芸術活動を取り巻く環境は一朝一夕に変化するものではないため、実践者はそれぞれにとって持続可能な関わり方やペースで活動と向き合っていくことが現実的だと考える。一方で、非営利活動においては、実践者、とりわけやりがいを持つものの負担だけが増すような状況に陥りやすいことも事実であるため、他者

との連携や交流によってよりよい活動状況をそれぞれが築き上げていくという工夫も同時に意識しなければならないことだといえる。

実践者のみならず、直接的な支援者、間接的な支援者など様々な形での連携、交流が生まれ、その一体感が醸成されることによって地域に根ざした長期的な文化芸術振興が実現されるのではないだろうか。

そのためには、実践者自ら文化芸術活動の持つ意義について周知し続けることが大切だと感じている。